

新情報発見!!

1 世界漫遊の全貌が明らかに!

ぜんぼう

数年前に茶箱から発見された資料を元に最新の調査で、新たにこれまで不明とされていた1930年3月から5月の世界漫遊の行程が判明しました。

【楽天全集】第11巻のために楽天が描いた世界漫遊地図



2 旅行鞆ではなかった!?

旅行鞆にしてはちょっと小さい...と思われていた革製の鞆。調査の結果、絵具の付着等から画家の商売道具である画材道具を入れた鞆であることがわかりました。

本展では、会期中にこの鞆を当時の資料と共に展示します。鞆には世界各国のホテルのラベルが当時の状態のまま貼られています。楽天は、保存用なのか貼らない状態のラベルも複数保管していました。約100年前の世界旅行を感じられる鞆やラベル等もお見逃しなく。



3 旅には壮大な目的があった!!

世界漫遊の旅先から、世界の状況をつぶさに時事漫画にした楽天。当時の様子は、時事漫画だけでなく、詳細な日記や日本に残るいの夫人に多くの手紙を記しています。驚くべきことに、楽天の死後いの夫人は、そうした楽天の日記や手紙を大切に保存していました。貴重な当時の資料から、世界漫遊の目的は単なる観光旅行ではなく、パリでの絵画教室の仕組みを体験するほか、印刷技術の進んだドイツから印刷機の輸入を試みる等、日本の漫画界発展を目指したものだということがわかりました。

展示概要

さいたま市が世界に誇れるもののひとつに、日本近代漫画の先駆者・北沢楽天の存在があります。その邸宅跡に建つ漫画会館には、楽天自身の作品はもちろん、一世を風靡した漫画家として楽天が世界中から収集した美術品や漫画に関する資料が数多くコレクションされています。

楽天の世界漫遊シリーズ展の第2回となる本展では、昭和4年(1929)から翌年にかけて、パリを拠点に「世界漫遊」の旅に出かけた楽天の軌跡の中から、フランス、イギリスの滞在に焦点をあて、現地でも描き、一年余りにわたって表紙を飾った『時事漫画』(『時事新報』日曜付録)と絵画、そして北沢楽天の邸宅に遺されていた資料を中心にご紹介いたします。

フランス編では、藤田嗣治が描いた楽天の似顔絵を3点、楽天が当時の時事漫画に「藤田嗣治君の画室」として藤田のパリでの活躍を紹介した記事を特別展示します。また最新の調査で、フランス滞在中に描いたと判明した「下足番」「花見図」の絵画と共に、その下絵を初公開します。

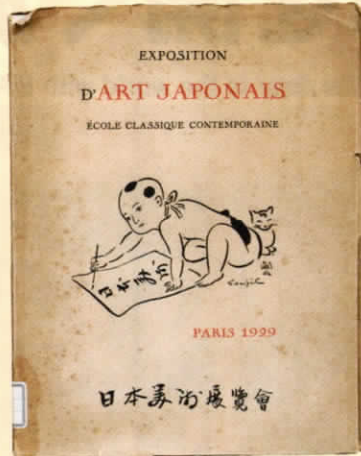
楽天が世界から発信したカラフルでいきいきとした未知の世界。その遭遇を目の当たりにした、昭和初期の人々感動と驚きを想像しながらご覧いただけますと幸いです。

次回案内 漫画家が見た、世界への扉

楽天の世界漫遊はシリーズ展として「楽天の世界漫遊Ⅲ：世界を感じて～わが道を拓く、三光漫画スタジオの開設」として令和6年2月から開催を予定しています。



藤田嗣治「楽天先生」(1929年)



日本美術展覧会図録(1929年)



【花見図】



【キツネと襟巻】



【世界唯一!下足番】



【RED LION】

ギャラリートーク

学芸員がわかりやすく、楽しく展示解説をします。

日時：令和5年5月27日(土)、6月24日(土)
各日13時～(約30分)

参加無料

申込不要

※手話通訳あり

漫画会館 ー北沢楽天・漫画のルーツー

漫画会館は、昭和41(1966)年にできた日本初の漫画に関する美術館です。世界中で多くの人々が親しんでいる「MANGA」、その漫画の歴史を今に伝える漫画会館は、これからもさいたま市の貴重な漫画の文化を受け継ぐ場所であり続けることを目指しています。